

地域計画

策定年月日	令和7年2月25日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	東成瀬村 (054640)
地域名 (地域内農業集落名)	柳沢地区 (岩井川、手倉)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	90.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	90.0 ha
② 田の面積	ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)牧場の面積90.1ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛の生産を行う法人が村からの受託により村有地を管理し、牧草採草地として活用している。人員不足が課題。</li> <li>・農用地の一部は中山間地域等直接支払交付金の個別協定の対象となっている。対象面積約18ha。</li> <li>・農用地の一部は冬期間スキー場施設として活用されている。スキー場の運営主体により、運営の必要上、草刈り等の管理が行われている箇所もある。</li> </ul>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人による活用、維持管理が行われており、今後も牧草採草地としての活用を継続する。</li> </ul>
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状では1法人による農用地利用が行われており、現在の形態を維持する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	100	%	将来の目標とする集積率
			100 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
すでに目標地図に位置づける法人へ農用地が集約されており、この形態を維持する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
すでに法人に農用地が集約されており、今後もこの形態を維持する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
村と法人間の受委託契約による活用、維持管理が行われており、今後もこの形態により継続予定。
(3)基盤整備事業への取組
平成27年度に約25haの草地整備を実施しており、当面の間、基盤整備事業への取り組みは不要。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
法人を担い手とする現在の経営形態を継続し確保していく。 新規就農希望者や法人等による新規参入希望があれば、地域の担い手として確保・育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業委託の活用予定なし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑦中山間地域等直接支払制度の活用による地域資源の保安全管理活動が行われていることから、今後もこの形態で農用地の維持管理を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		牧草	90.1 ha	0.0 ha	牧草	90.1 ha	0.0 ha	黄緑色	
計	1経営体		90.1 ha	0.0 ha		90.1 ha	0.0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 目標地図(別添のとおり)